

12月31日(火)

夜ふけて神様を思う

聖書朗読 詩篇 63:1~8

ああ、私は床の上であなたを思い出し、夜ふけて私はあなたを思います。

詩篇 63:6

最近インドから帰国しましたが、時差ボケに悩まされました。体内時計はまだ昼間なので、夜明け前に目が覚めてしまいます。しかし、この嫌な症状にも祝福があるのです。それは、かたわらで静かに眠っている妻を見て、自分は確かに無事に家に帰ってきたのだと納得できるということです。さながら、ダビデが『夜ふけて私はあなた(神)を思います。』と書いたように。

この詩は、若いダビデがサウル王から逃れるためにユダの荒野に行ったときに創作されたと言われています。(サムエル I 22:5)『水のない、砂漠の衰え果てた地で』、ダビデのたましいは神様を求めていました。私とは違って、ダビデは家族や友人たちから離れていましたが、神様のご臨在と御力と備えを確信していました。

私の牧会の人生の初期に、素晴らしい主にある姉妹が教えてくれたことがあります。彼女が未亡人になって数年経っていました。私は、どうしたらそれほど上手に寂しさと向き合えるのか尋ねました。すると彼女はこう答えました。「私は一人になったことはないのよ。いつも主が私と一緒にいてくださるから。」

そうなのです。いつも主が私と一緒にいてくださるのです。朝も昼も夜も。でも、夜ふけて思う以上に神様を近くに感じたことはありません。

讚美歌 24 父の神よ

祈り 天の父よ。ダビデとともにこう祈ります。『あなたは私の助けでした。御翼の陰で、私は喜び歌います。』(7節) イエス様のお名前によって。アーメン。



テネシー州 マクウェン / ジム・サデス

2025年1月1日(水)

後悔? 猶予があります

聖書朗読 詩篇 69:1~13

神よ、あなたは私の愚かしさをご存じです。私の数々の罪過は、あなたに隠されてはいません。万軍の神、主よ。あなたを待ち望む者たちが、私のために恥を見ないようにしてください。

詩篇 69:5~6a

後悔はあなたの心に重くのしかかります。特に過ちを修正できない子育てに関しては。しかし忘れないでください。私たちが何者なのかは、自身の過ちによってではなく、神様の愛と憐れみによって定義されるのです。神様は後悔の念を手放し、神様が下さる新しいものを抱き寄せるように招いておられます。

子どもたちにキレて怒りのままに任せてしまった罪と格闘していたことを思い出します。私は親として失敗し、子どもたちとの関係が断たれてしまうのではないかと思っていました。その頃、バイブル・クラスでローマ 8:1 を偶然読んだのです。そこには『こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。』とはっきり書いてあります。キリストを通して私たちは赦されて、罪の縄目から解放されているのです。神様の憐れみは、私たちのすべての欠点を覆い隠します。神様と子どもたちからの赦しを求めた時、人間関係が再構築される神の癒しを経験しました。

私たちは親として、さまざまな後悔や不安な気持ちと葛藤します。神様の恵みが私たちに十分にあるのだ(コリント II 12:9)ということをお出ししましょう。神様の愛は私たちが日々新しくしてください。そして、必要な力と知恵をください。神様の恵みをしっかり抱きましょう。神様の約束を信じ、子育てと人生において神様に希望と目的をもって導いていただきましょう。

讚美歌 265 世人の友となりて

祈り 主よ。後悔で何もできなくなってしまう時、あなたが絶えることのない変わらぬ愛と憐れみのお方であることを思い出させてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

アリゾナ州 フェニックス / ジョセリン・ブラウン

1月2日(木)

神様のもとに住まう

聖書朗読 詩篇 91篇

見よ。わたしは、世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

マタイ 28:20

詩篇91篇に描かれている災害は、現代を生きる私たちは経験することができません。詩篇の作者が、それらの災害を現代のものとして書き並べるとどうなるでしょうか。サイバーアタック、経済崩壊、国境の安全問題でしょうか。いと高き方の隠れ場に住む者は恐れない、わざわざはふりかからないから、と作者は言っています。本当でしょうか。作者は悪いことが善い人に起こると認識していたと思います。悪いことが実際、彼に起こりました。しかし、彼はまたこの世でどんなことが起ころうとも、神様の愛と存在という最も大切なものを失う原因にはならないとも認識していました。いと高き方の隠れ場に住む者は安らぎを得ます。私たちは最も大切なものを失ってはいけません。

毎晩、何億人もの人々が次々に知らせてくる恐怖のニュースを聴きながら眠りに就き、恐ろしいトップ記事で朝を迎えます。人々が恐怖に包まれているのは当たり前です。もしその人たちが、いと高き方の隠れ場で平穩に生きるクリスチャンを目の当たりにしたらどうでしょう。私には今日、あなたが対峙している問題を知る由もありません。しかし、問題があることは分かります。問題は詩篇の作者にも起こりました。もし、私たちが時折その隠れ家に行くのではなく、いと高き方の隠れ場に住むなら、主イエス様を時折見える客人としてではなく、永住者として私たちの人生にお招きするなら、どのような恐怖の夜が訪れても、全能者の陰に宿り安らぎを得ることができます。

讚美歌 404 山路こえて

祈り 父よ。困難が押し寄せてきた時、あなたの中に平安を見出し、平穩な思いで過ごせますように。そのように生きる私たちを見て、周りの人たちも神様を見出すことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン

テキサス州 ラボック / デイビッド・ラングフォード

1月3日(金)

命令

聖書朗読 詩篇 100篇

全地よ。主に向かって喜びの声をあげよ。喜びをもって主に仕えよ。喜び歌いつつ御前に来たれ。知れ。主こそ神。主が、私たちが造られた。私たちは主のもの、主の民、その牧場の羊である。 詩篇 100:1~3

詩篇100篇には重要な7つの命令が書いてあります。そこに書かれている動詞の命令形についてよく考えてください。それらは、ヤハウェを信じる者として、という身の振る舞いをすべきかを教えています。あげよ。仕えよ。来たれ。知れ。入れ。感謝し、ほめたたえよ。多くを期待されていますが、それには理由があります。これらは、神様を証する3つの意味のある事実に基づいています。

一つは、ヤハウェは良い方であるということです。私たちは“良い”という言葉を手軽に使います。“良い料理だったね”“良い車だ”“良い人だ”などです。イエス様は“良い”という言葉をもっと高いレベルで使われました。『なぜ、わたしを『良い』と言うのですか。良い方は神おひとりのほか、だれもいません。』(マルコ 10:18) 神様は良い方です!

二つは、神様の恵みはとこしえまでということです。人間の愛はいつか廃れます。最も深い愛でさえ時には失望に終わります。しかし、神様の愛は永遠です。神様があなたを愛するほどに、どんな人からも愛されることは決してありません。

三つは、神様は裏切らないお方であるということです。神様は偽ることができません。神様は、私たちとともに、私たちの近くに、私たちのためにおられると約束をされました。(ヘブル 6:18、テトス 1:2) ひとつひとつの約束が、今日も将来も、代々に至るまで真実です。

讚美歌 II 191 主のまことはくしきかな

祈り 主よ。あなただけが良いお方で、愛のお方で、裏切らない方だと知っています。私たちがあなたのご性質をこの世に示すことができるように助けてください。イエス様のお名前です。アーメン。

テネシー州 スプリングヒル / デール・ジェンキンス

1月4日(土)

私のうちにあるすべてのものでほめたたえる

聖書朗読 詩篇 103:1~10

わがたましいよ。主をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ。聖なる御名をほめたたえよ。 詩篇 103:1

「この賛美はあらゆる文学において無比のものである。」と、ある旧約聖書学者が述べました。ダビデはこの荘厳な詩篇の中で神様をほめたたえるのに、彼のうちにあるすべてのものを必要としました。

私たちが神様をほめたたえるとき、神様がどれほど偉大で良い方であるかが、身体的、精神的、霊的にあますところなく理解できます。

チャールズ・ウエスリーの讚美歌《あめなるよこび こよなき愛を》(讚美歌 352)の英語の歌詞にある“驚き、愛、そして賞賛に浸る”というような経験をしたことがありますか。恐れ多いと思う方もいるかも知れませんが、それが詩篇103篇で私たちがそうするように励まされていることです。

どうやって私たちはその境地に辿り着くことができるのでしょうか。一つの方法は、神様がなさった出来事の中に浸り切ることです。ダビデはそうしました。ダビデは、主の良くしてくださったこと、すべての咎を赦し、すべての病をいやし、いのちを贖ってくださったことを思い起こしました。ダビデは、神様の比類のない愛、憐れみ、一生を良いもので満ち、驚のように新しい若さを与えてくださる方であることを思い出しました。

私は先週どういふことに時間を費やしたかを考えてみました。神様がしてくださったことを思い、神様に感謝することよりも、恥ずかしいことに、心配、不平、怒りにより多くの時間を使っていました。私のように不平不満に多くの時間を費やすのではなく、あなたが神様への賛美に多くの時間を費やしていることを願います。神様は私たちが失敗しても恵み憐れんでくださいます。私と一緒に、今日、神様の聖なる御名をほめたたえましょう。

讚美歌 9 カの主をほめたたえまつれ

祈り 親愛なるお父様。あなたに感謝を捧げほめたたえるのを忘れがちな私を赦してください。あなたは偉大なる愛のお方です。イエス様のお名前です。アーメン。 アイオワ州 クレググホーン / ロバート・ブレア

1月5日(日)

塹壕の祈り

聖書朗読 詩篇 119:17~32

高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。 ローマ 8:39

戦闘で兵士が受けもつ役割はゾツとするほど恐ろしいものと思われれます。厳しい状況の時に、信仰を持っていない兵士であっても信仰的になって祈るという話を多く聞きます。大抵は「神様、この状況から救い出してくれたら、私は〇〇すると約束します。」というような祈りです。神様への約束の数々は、危険が去った後には大概忘れられています。

本日の聖書箇所ダビデ王の心がぐらついていることがよくあったのが分かります。『あなたのさとしは私の喜び』(24節)と言ったかと思えば、ほとんど同時に『私は、あなたのさとしを堅く守ります。主よ。どうか私をはずかしめないでください。』(31節)と言っています。言い換えると、「私はいい人間です。あなたのみことばがいつも私の手引きです。」と言ってから、「主よ、問題が起きてしまいました。どうしたことでしょう。私はいつもあなたの命令に従っているのに。」と言います。

良い事が良い人に起こり、その良い人に悪い事が起こるのを不思議に思ったことはありませんか。それがイエス様にも起こりました。使徒パウロにも起こりました。そうです、私にも起こるのです。

混乱した状態で注意が必要な時、この歌が思い浮かぶかもしれません。《この世は私の家ではない。私はただの通りすがりの者だ。》(編注: This World Is Not My Home by Jim Reeves) また聖書のみことばを思い出すこともいいでしょう。私の場合はこの聖句です。『(何も) 私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。』(ローマ 8:39) いかなるものも!

讚美歌 370 めさめよ わが霊(蛍の光のメロディー)

祈り 天の父よ。あなたは私の力であり救い主です。そう約束してくださいました。困難や混乱の中にある時、それを忘れてしまう私たちの弱さを赦してください。イエス様のお名前によって。アーメン。

オレゴン州 フィロマス / ウィリアム T・マッコーハン